

日本学術会議 心理学・教育学委員会 心理学教育プログラム検討分科会（第24期・第1回）
議事要旨

日時 平成30年4月8日（日）15:00-17:00

場所 東京大学大学院教育学研究科 第1会議室

心理学教育プログラム検討分科会

出席：箱田裕司、長田久雄、遠藤利彦、楠見孝、中島祥好、宮谷真人、外山みどり、阿部恒之、
坂本真士、菅原ますみ

欠席：鈴木伸一、桑野園子

審議事項

(1) 役員を選出

委員長は楠見、副委員長は鈴木、幹事は外山・菅原に決定した。

(2) 本年度の活動方針について

○ 楠見委員長より、本委員会の開催は年3～4回とし、3年目の最終年度には提言を作成する

ことが提案され、了承された。

○ 審議により、今期の課題を以下の2点とすることとした：

- ① 第23期に公表した提言『心理学教育のあるべき姿と公認心理師養成－「公認心理師養成カリキュラム等検討会」報告書を受けて－』において課題としてあげた5点（提言iiiページ参照、(1)高等教育に相応しい教育課程を前提とすべきこと、(2)大学間・大学院間コンソーシアム制度を確立すべきこと、(3)心理学教育の「参照基準」（2014年日本学術会議）にもとづいた養成カリキュラムとすべきこと、(4)科目シラバスの明確化と実習マニュアルの策定が必要であること、(5)国家試験の事例問題の妥当性の検証が必要であること）に関する検証を3年間にわたっておこない、提言としてまとめる
- ② 高等学校における心理学教育の現状を把握し、今後の方向性に関する提言を策定する

○ 楠見委員長より、上記2点の課題について、1年目は現状把握・2年目に討論・3年目に分担執筆によって2つの提言をまとめることを目標とすることが提案され、了承された。

○ 参加各委員の所属大学における公認心理師養成の現状に関する情報交換がおこなわれた。

3) 次回の予定

時期：平成30年7月～8月に設定

場所：未定

内容：心理学・教育学委員会社会のための心理学分科会との合同会議

報告（遠藤委員、村田委員、菅原委員）にもとづく討論

以上